

## 会 議 録

会 議 名	第 1 回真庭市子ども・子育て会議
日 時	令和 3 年 7 月 27 日 (火) 1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0
場 所	真庭市役所 本庁舎 2 階大会議室
出 席 者	<出席委員> 1 3 名 有本委員、市川委員、内田委員、岸本委員、清友委員、 佐藤委員、庄司委員、杉本委員、西山委員、原田委員、 藤田委員、前田委員、牧原委員 <欠席委員> 1 名 山下委員 <事務局> 2 名 健康福祉部子育て支援課 石田課長 健康福祉部子育て支援課 硯参事
傍 聴 者 数	傍聴者 1 5 人
次 第	1 開 会 2 挨 拶 3 委員自己紹介 4 子ども・子育て会議について 5 会長及び副会長の選出について 6 議 題 ( 1 ) 真庭市における幼児教育施設の現状と課題について ( 2 ) 今後の会議の進め方について ( 3 ) その他 7 閉 会

## 1 開 会

(事務局 石田課長)

定刻となりましたので、ただいまから、第1回真庭市子ども・子育て会議を開催いたします。

本日は、このような遅い時間にお集まりいただきありがとうございます。私は、本日進行を務めさせていただきます 子育て支援課長の石田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、お手元の資料等を確認させていただきます。委嘱状、次第、配席表、資料が1から8まで、参考資料としまして「真庭市子ども・子育て支援施設整備計画」と「真庭市子ども・子育て支援事業計画」をご用意しております。

不足はございませんでしょうか。不足がある場合は、事務局にお申し付けください。

本日の会議の終了時刻は、午後8時30分を目安としておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、健康福祉部長の岸本よりご挨拶申し上げます。

## 2 挨拶

(健康福祉部 岸本部長)

この会議では、真庭市における子育て環境がどのようなものが良いのか、皆様からのご意見を伺いたいと思います。民間事業所からの提案も出ており、喫緊の課題となろうかと思いますが、真庭市全体の子育て環境につきましても、定期的に参集いただきまして色々のご意見をいただきたいと思いますと考えております。

本日の会議は、このような議論を進めるにあたって、まず、真庭市の保育環境がどういった状況にあるのか、あるいは乳幼児の状況がどういった見込になっていくのかなどについて事務局から説明させていただき、真庭市の現状についてを一定程度ご承知おきいただいた上で意見交換をしていただければ思っております。より良い会議となりますようご協力をよろしくお願いいたします。

## 3 委員自己紹介

(事務局 石田課長)

続きまして、本日は第1回目の会議になりますので、真庭市子ども・子育て会議委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思います。お手元の資料の配席図の順をお願いしたいと思います。

それでは、有本委員からよろしくお願いいたします。

(有本委員) – (市川委員) – (内田委員) – (清友委員) – (佐藤委員) – (庄司委員) – (岸本委員) – (杉本委員) – (西山委員) – (原田委員) – (藤田委員) – (前田委員) – (牧原委員) の順で委員一人ひとりが自己紹介

(事務局 石田課長)

本日、欠席されていますが(山下委員)もここで紹介させていただきます。  
また、事務局職員を紹介させていただきます。

事務局 (石田課長) – (硯参事) の順で一人ひとりが自己紹介

(事務局 石田課長)

本日は、委員14名中13名の方にご出席いただいております。

過半数に達しておりますので真庭市子ども・子育て会議条例の第5条第2項の規定により会議は成立しておりますことをご報告いたします。

なお、委嘱状ですが、時間の都合上、机上に配布させていただいております。  
どうぞよろしくお願いいたします。

#### 4 子ども・子育て会議について

(事務局 石田課長)

つづきまして、子ども・子育て会議につきまして、担当よりご説明させていただきます。

～(事務局 硯参事)が資料説明【資料1、2】～

(事務局 石田課長)

この件につきまして、何か質問はございますでしょうか。

～質問等なし～

#### 5 会長及び副会長の選出について

(事務局 石田課長)

続きまして、会長及び副会長の選出ですが、いかがいたしましょうか。

(西山委員)

事務局にお任せしたいと思います。

(事務局 石田課長)

事務局一任とのご意見をいただきましたが、皆様よろしいでしょうか。

～異議なしの声～

(事務局 石田課長)

ありがとうございます。それでは、事務局案をご報告させていただきます。

会長に、佛教大学教育学部教育学科教授の「佐藤和順（サトウ カズユキ）」委員を、副会長に真庭市愛育委員会会長の「杉本喜美恵（スギモト キミエ）」委員をお願いしたいと考えております。よろしければ拍手をお願いしたいと思います。

～多数の拍手あり～

（事務局 石田課長）

ありがとうございます。それでは、誠にお手数ですが、お二人にはあちらの会長・副会長席にご移動をよろしく願いいたします。

～会長及び副会長の席にそれぞれ着席～

（事務局 石田課長）

それでは、就任にあたりまして佐藤会長からご挨拶を賜りたいと存じます。

～佐藤会長よりあいさつ～

（事務局 石田課長）

ありがとうございます。それでは、以降の進行は佐藤会長からお願いいたします。

## 6 議 題

（佐藤会長）

議題に入る前に、本日の会議の進め方についてですが、今回は、第1回目ということもありまして、真庭市の現状や課題など、理解すべき事項が多くあるように思います。私たちの理解を深めるということに本日は主眼を置いて進めたいと思います。後ほど皆様のご意見、ご質問をいただくわけですが、限られた時間の中で全ての質疑応答、あるいは意見をくみ尽くすというような段階にはまだないと思いますので、そのあたりについてご了解いただきまして、本日足りない分は、次回、あるいはまた会議の終わった後、事務局との間でやりとり等を行うことによって補っていただければと思います。

それでは、議題に入りたいと思います。

議題の（1）真庭市における幼児教育施設の現状と課題について、事務局から説明をお願いします。

（事務局 石田課長）

この会議は、真庭市の子どものために様々な施策についてご意見をいただくこととなりますが、本日のテーマにあげさせていただいておりますのは、特に喫緊の課題であります真庭市の幼児教育施設についてでございます。こちらの説明をさせていただきます。

～（事務局 硯参事）が資料説明【資料4、5、6】～

(佐藤会長)

ただいま事務局から説明のありました議題の(1)につきまして、委員皆様からご意見、ご質問等をいただきたいと思います。

(西山委員)

施設整備の基本的な方針として、市財政も考慮していくとのことだが、施設の老朽化が進む中、震災などへの対応できる施設がどこまで作れるのか不安に思いました。

(佐藤会長)

付け加えて、耐震化の診断はされていますでしょうか。

(事務局 石田課長)

耐震診断の資料につきましては、次回の会議でお示しさせていただこうと思います。

西山委員のご意見についてですが、財政面のことはありますが、子どもの安全安心を守るというのが第一でありますので、そのあたりは、今日のご意見を参考にしながら財政面だけではないということも含めて考えていけたらと思っております。

(清友委員)

- ① 0～5歳の子どもとあるが、資料では「児童数」という表現になっている。「児童」とは、小学校の児童のことなので間違っているのではないのでしょうか。
- ② 入園児数は入園希望をとった数値でしょうか。
- ③ 「家庭的保育」とはどういったものが該当するのでしょうか。

(事務局 石田課長)

- ① 0～5歳の子どもの数ということでご理解いただければと思います。
- ② 実績部分については、入園希望も含めた数値ですが、推計部分につきましては、入園割合の実績から推計したもので、入園希望をとった数値ではございません。
- ③ 本日、資料を用意しておりませんので、次回の会議にてお示しさせていただきます。

(前田委員)

私の聞いているところでは、久世こども園の充実と久世保育園の老朽化に伴う廃園ということで話が進んでいるとの認識ですが、この会議ではどういったことを決めていくようになるのでしょうか。

(事務局 石田課長)

今日お集まりの委員の皆様の中にはご存じない方もいらっしゃると思いますので、説明させていただきますと、昨年12月の議会の文教厚生常任委員会

の中で久世こども園の充実と久世保育園の老朽化に伴い廃園の方向で検討しているということを発言しております。このことが、今年、6月の議会だよりに掲載されたことにより、保護者の方、久世地区の皆様には不安にさせてしまったということで反省しております。この話につきましては、いったん白紙に戻してということが現状でございます。今回、課題を皆様と共有させていただいた上で、今回の会議におきましては、このこともテーマにして、皆様からご意見をいただきたいと考えております。

(佐藤会長)

「真庭市子ども・子育て支援施設整備計画」に沿って、この子ども子育て会議の中で幼児教育施設の整備の方向性を出していこうという考えで良いのでしょうか。

(事務局 石田課長)

そうです。

(佐藤会長)

それでは、次の議題に入りたいと思います。

議題の(2)今後の会議の進め方について、事務局から説明をお願いします。

～(事務局 硯参事)が資料説明【資料7、8】～

～(岸本委員)から補足説明～

(佐藤会長)

簡単に言いますと、この会議は「真庭市子ども・子育て支援施設整備計画」や「真庭市子ども・子育て支援事業計画」に基づいて真庭市全体の子ども子育てについて検討する会議ではあるが、取り急ぎ、定員がオーバーしていて、老朽化が進んでいる久世地域のことを優先的に検討していいですかという提案だと認識していますが、それでよろしいでしょうか。

(事務局 石田課長)

会長のおっしゃられたとおりでございます。

大きく言いますと、民間からの提案があったことに関してご意見をいただきたいということと、久世地域のことを喫緊の課題として取り組んでいきたいということでございます。

(佐藤会長)

民間からの提案があったということで、中身については存じ上げませんが、この会議では、その提案について判断するということではなく、その方向性について決めさせていただいて、後は、別の機関で決定するということよろしいでしょうか。

(事務局 石田課長)

会長のおっしゃられたとおりでございます。

提案があったもの（内容）を審議するというわけではなく、民間が参入すること自体についてどのように思われるかというご意見をいただきたいということでございます。出てきました提案につきましては別の組織でまた検討していくということでございます。

（佐藤会長）

次回、久世地域のことを中心に議題とさせていただき、また、その中心的なものとして久世の園の老朽化や子どもの安全安心を考えたときにいかに解消するか、その際、民間の参入を決定するのではなく、視野に入れてもいいのかということを検討するというで認識させていただきました。

（前田委員）

- ① 民間からの提案があったということですが、「愛慈園」が運営を始められる際に、このような流れがあったのでしょうか。比較はできないかもしれませんが、今後の参考になればと思いますので。
- ② 具体的な提案などの情報を、次回、資料として示していただけるのでしょうか。

（事務局 石田課長）

- ① 「愛慈園」につきましては、申し訳ございませんが、承知しておりません。
- ② 民間の園が仮にできるとして、市の計画に即したものでないといけませんし、県の子ども子育て会議で認可してもらうにあたり、市の子ども子育て会議で皆様の意見を聞いたものでないといけませんので、そういった点で、民間参入を視野に入れるかどうかを諮らせていただきたいということでございます。

具体的な提案内容ですが、もし、（民間参入を視野に入れることが）可となりましたら、新たな形で、こういった提案がありましてということで他にも公募の形も考えておりますので、その場で具体的な提案は出していきたいと考えております。この場では、あくまでも民間参入についてどう考えるかということについてご意見をいただきたいということでご了解をいただきたいと思います。

（佐藤会長）

この会議では、民間参入を視野に入れるかどうかを最終的に判断して、それを受けて具体的な提案だとか公募というものは市のほうが公平・中立な立場でやっていただく。だから、今は具体的な民間業者の名前も出さないし、条件も出さないし、逆に言えば真庭市がこの条件でお願いしますというのを広く示して、真庭市に限定するのか岡山県内あるいは全国的に募集するのかというのは別の組織で考えていただくことになるという認識でよろしいでしょう

か。

(事務局 石田課長)

会長のおっしゃられたとおりで、もし、民間参入が良いということになれば、そういった形で公募等かけてやっていきたいと考えております。

(佐藤会長)

色々な噂等で不安になっておられる方もいらっしゃると思いますので、問題なければ、次回、久世地域の園の保護者代表の方にもこの会議にご出席いただいて、率直な考え方、気持ちというものをお聞かせいただいて、それを踏まえてこの会議の参考意見とさせていただくということではいかがでしょうか。

～異議なしの声～

(佐藤会長)

ありがとうございます。それでは、次回の会議に、久世地域の園の保護者代表に出席していただくよう事務局からお願いしてください。

(事務局 硯参事)

承知いたしました。

(佐藤会長)

その他に、ご意見ご質問はございませんか。

～特に声が上がりず～

(佐藤会長)

また、何かご意見等ございましたら事務局のほうに直接お尋ねいただいてもよろしいですか。

(事務局 石田課長)

構いません。

(佐藤会長)

多様性の時代で、保護者のニーズも色々と変わってきているんだと思います。あれもやってほしい、これもやってほしいという方もいれば、今のままで良いという方もいらっしゃいます。個人的には、その地域に、幼稚園もあれば、保育所もあり、こども園もあり、私立もあり、公立もあり、そういった保護者の選択肢が広がるというのが最良の方法だと思います。一方、岡山県は、公立の文化が圧倒的に強い地域であるようです。そういった、伝統的なものを慣習していくのかどうか、そういったところも含めて次回検討していただければと思います。

それでは、本日の議事は以上でございます。皆様のおかげをもちまして、予定どおり終了することができました。次回も、積極的なご意見をお願いいたします。それでは、事務局にお返しさせていただきます。



## 7 閉 会

(事務局 石田課長)

佐藤会長、委員の皆様ありがとうございました。

本日は、第1回目ということもあり、事務局からの一方的な説明が多くなってしまい申し訳ございませんでした。

次回につきましては、先ほど議題の中で説明しましたように、アンケート調査の結果を次回会議より前に事前にお送りさせていただこうと考えておりますので会議の中でご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。なお、次回(第2回目)の会議の開催を8月18日(水曜日)、第3回目の会議を、その1週間後の8月25日(水曜日)に、いずれも午後7時から同じくこの会場で予定しておりますので、お忙しいところ恐れ入りますが、ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、閉会にあたりまして杉本副会長にご挨拶を賜りたいと存じます。

～杉本副会長よりあいさつ～

(事務局 石田課長)

ありがとうございました。以上をもちまして、第1回真庭市子ども・子育て会議を閉会いたします。長時間にわたりありがとうございました。お気を付けてお帰りください。